



蔵書検索・予約はコチラ

7月是新書を読もう！

今月は「新書を読む月間」です。

一人1冊は新書を読み、感想文を記入しましょう。**7月24日まで**に記入し、提出してください。よく書けているものは図書館だよりで紹介します。

新書を読むことは、小論文や大学入試にも役立ちます。

新書の読み方、選び方はカラフル6月号にも掲載していますので、参考にしてください。

おすすめ

まほら館には科学に関する新書レーベルがいっぱいあります！

サイエンスアイ新書（約300冊）・講談社ブルーバックス（約150冊）

理科系の分野に興味がある人は、ぜひ読んでみてください！

※ブルーバックス…1963年創刊の科学新書レーベル。「科学は難解である」という先入観をなくし、多くの人々に科学への興味と科学的な視点をつたのが目標。

おすすめ

「新書を開いてみたけど、字がぎっしりで読みにくそう。全部読めるか心配」と思った人へ。「新書」の中にも初心者向けのレーベルがあります！

岩波ジュニア新書・ちくまプリマー新書は中高生向けの「新書」です。

探究好きの人には、岩波ジュニア新書の『新種発見物語 足元から深海まで11人の研究者が行く！』がおすすめ。ちくまプリマー新書は、『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』が令和4年度の鹿児島県高校入試で出題されています。この機会にぜひ読んでみてください！

新刊紹介

新しく入った本の中から、おすすめの本を紹介します。気になる本があったらぜひ借りて読んでみましょう！

	タイトル／著者 出版社／請求記号		タイトル／著者 出版社／請求記号
	日本星名辞典／野尻抱影 ／講談社／443ノ		お悩み相談そんなこともアラナ／ヨシタケシンスケ／白泉社／159ヨ
	魚へん漢字おいしい解体新書／魚偏漢字研究所／幻冬舎／811サ		蜂蜜パイ／村上春樹／新潮社／913ム
	推し活の心理臨床／岩宮恵子／日本評論社／146イ		吸血鬼／遠野遥／集英社／913ト
	さよならジャバウオック／伊坂幸太郎／双葉社／913イ		リアルにヤバい犯罪増加！10代の防犯／田村装備開発／あかね書房／368ア
	探偵小石は恋しない／森バジル／小学館／913モ		地面師 VS.地面師／森功／講談社／368モ

コンクールに挑戦してみよう



夏休みに向けて、たくさんのコンクールが開催されています。
少しでも興味のあるものは、ぜひ挑戦してみましょう。
コンクール詳細はまほら館まで尋ねてください。



コンクール名	内容	締め切り
第70回西日本読書感想画コンクール	本を読んで、その感想を絵に描きましょう。	10/16 (金)
第72回青少年読書感想文全国コンクール	本を読んで、その感想文を書きましょう。 課題図書、自由図書の部門から選べます。	9/18 (金)
第46回全国高校生読書体験記コンクール	読書をしたことによる自分の内面や生活の変化、読後に起きたさまざまな変化を自ら見届けよう読書体験を書きましょう。 読んだ本は図鑑や地図、漫画でもOK!	9/24 (木)
第17回いっしょに読もう!新聞コンクール	日本新聞協会主催のコンクール。家族や友達といっしょに新聞を読み、感想や意見を書いて応募します。	9/8 (火)
第41回全国高等学校文芸コンクール	小説、文芸評論、随筆、詩、短歌、俳句、文芸雑誌の7部門で応募できます。	9/14 (月)

夏休み特別貸出の案内

夏休み前の特別貸出を行います。ぜひ本を借りて有意義な夏を過ごしましょう!

開始日 7月13日 (月)

貸出冊数 一人10冊

返却日 9月4日 (金)

読書感想文 課題図書の紹介

	タイトル／著者／出版社	あらすじ	請求記号
	スウィッシュ!／ 藤ノ木優／徳間書店	スウィッシュとは、ボールがリングにまったく触れない完璧なシュートのこと。バスケット部の愛奈は、骨折をして全治四ヶ月のエース・羽瑠とともに、高校生活最後の大会に挑む。愛奈はチームのために、スポーツドクターの父に相談することに……。	913フ
	平和のうぶごえ 「原爆の子」として 生きた80年／早 志百合子／毎日新 聞出版	著者が自らの人生を振り返りながら、被爆した子どもである「原爆の子」たちが、この80年をどのように生きたのかを伝える、次世代の子どもたちへの生きるためのメッセージ。	916ハ
	ノアハム・ガーデンズの家／ペネロ ピ・ライヴリー／ ゴブリン書房	1970年代初頭の英国。14歳のクレアは高齢の大おばたちと暮らしている。ある日クレアは物置の中で、彩色された木の板を見つける。それはかつて人類学者だった曾祖父がニューギニアから持ち帰ったものだった。その日からクレアは奇妙な夢を見るようになる。	933ラ

このマークに注目!



読書感想文コンクールの課題図書についているこのマーク。なにやら変な生き物が鼻に二本の棒を突っ込んでいるように見えますよね。

実はこれは、ギリシャ神話に登場する牧羊神・パンという神様なんだそう。そして棒ではなく、二本の笛を(口で)同時に演奏しているそうで、陽気で笛を吹くのが得意だったようです。「青少年のおどかな(おっとり、おおらか)な読書をたたえこの像をシンボルマークとした」ということで、桑原巨守氏の彫刻がもととなっています。